

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三原村役場			代表者名	田野 正利
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0880-46-2111
担当者役職	主事	担当者氏名	関本 正太	連絡先E-mail	
住所	787-0892 高知県三原村来栖野346				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	庁内DX推進事業
概要	スケジュール及び施設管理、窓口業務等でデジタル化を図り、庁内のDX推進を行いたい。そのDX推進していくうえで、庁内視察や職員のヒアリングを行って、必要な対応策を助言いただきたい。		
支援を求める分野	EBPM人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 行政手続オンライン化 デジタルデバイド対策		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	-	令和6年11月27日	事前打合せ&支援・助言	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月27日	支援・助言&講演(実地)	9時00分	16時45分	60
			活動時間(分)	405	
2-2. 派遣場所	会場名	三原村役場	最寄駅	平田駅	
	所在地	高知県幡多郡三原村来栖野346	最寄駅からの交通手段	村営バス	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	由比 良雄
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	15分から45分程度職員に対してヒアリングをしていただき、庁内の課題や職員の不安点を第三者の視点をもとに洗い出してもらったのが非常に良かった。 村長・副村長にも、自分ではできない客観的かつ専門的なことをわかりやすく第三者の立場から伝えていただいたのが良かった。
アドバイザーへの要望事項	2日目も引き続きヒアリング等で実態調査を進めていただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	8人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	8			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	村長が不在の場合が多く、急ぎの住民向け決裁が思うように回らないことが多々ある。スケジュールは共有フォルダ内にあるエクセルで、施設管理は各担当課にて管理簿に手書き又はエクセル管理している状態である。また、窓口業務等のデジタル化も進んでないため、窓口業務等のデジタル化が進んでいる自治体と比べ住民を待たせる時間が長く、デジタルデバイドが生まれている。以上のことから、電子決済の導入、脱エクセル管理、スムーズな住民対応のための窓口業務等のデジタル化を行い、デジタルデバイドをなくすことが課題であるといえる。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	職員の意識改革・業務時間改善を目指し、仕事へのモチベーション上げに繋げる。そうすることで、速やかに丁寧な住民対応ができるようになって考えている。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	職員へのヒアリングを行い、庁内の課題点・取り組んでいくべき点を洗い出す。 村長・副村長に対して、村として残っていくために考え方を改めていかなくてはならないことを、資料をもとに説いていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	全てを理解できているわけではないが、話を聞いたりヒアリングを行っていく中で、村長・副村長・各職員の中で危機感が芽生えたのではないかなと思う。改善とまではいかないが、自分たちがこれから取り組んでいかなくてはならないことが多少なりと見えてきたのなら、1日目の意識改革として成功なのではないかと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	取り組むべきものが多々あり、どれから改善を図っていけばいいのか、アドバイザーと話して優先度を決めていかなくてはならない	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは3回目の支援日である12月6日に行う予定であるため行っていません。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進で業務の効率化を図り、職員のプライベート時間の確保・仕事への充実度を上げる。 削減でき余裕ができた時間・費用を、住民対応やサービスの充実に充てる。 そうすることで、スムーズかつ質のいい住民対応ができ、従来のような余計な手間や時間を煩わせることがなくなり、住民の幸福につなげることが最終目標である。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

